



物語～

時を超えて、 日本に届いたメッセージ～



ハンナ・ブレイディ

「2000年8月22日 ジョージ・ブレイディ様。
突然の手紙に驚いていらっしゃると思います。
わたしは東京でホロコースト教育資料センターの
所長をしている石岡史子といます。実は今、うちの
センターで展示しているかばんがあなたの妹ハンナ・
ブレイディさんのものだとうわかったのです…」

ポーランドのアウシュヴィッツ博物館から東京の
ホロコースト教育資料センターに届いた茶色いかばん。

かばんには「ハンナ・ブレイディ 1931年5月16日生まれ 孤児」と書かれていた。

史子は、ハンナがどんな女の子だったのかを知りたくて、旅に出た。
そして、兄のジョージが生き延びて、カナダに暮らしていることを突き止め、手紙を書いた。

ジョージは、重い口を開いて、史子と娘のララ・ハンナに、3つ違いの妹ハンナのことや自分の家族のことを語り始めた—

ハンナは、クリームパイが大好きな、元気いっぱい女の子だった・・・

映像と美しい音楽で綴る感動の物語。

上演時間：1時間20分(休憩なし)



ハンナのかばん

脚本・作詞／いずみ凜 演出／モニ・ヨセフ

参考図書「ハンナのかばん」(ポプラ社刊)
カレン・レビン著／石岡史子訳

共催：NPO法人ホロコースト教育資料センター
平成22年度厚生労働省社会保障審議会
推薦児童福祉文化財

銅鑼

〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4
tel: 03-3937-1101 fax: 03-3937-1103
URL: <http://www.gekidandora.com>
E-mail: info@gekidandora.com
Twitter @gekidandora Facebook @theatercompanydora

人々のくらしに演劇が溶け込み、
心豊かな人生の糧となること—それが私たちの願いです。

創立より、私たちは「平和」「人間愛」「本当に人間らしく生きることは何か」
をテーマに創造活動を続けてきました。現代にこそ本当の「演劇の力」が求
められていると確信し、これからも地域へ全国へ、そして世界へ、演劇を通
して豊かな文化に触れられる機会を作り続けていきたいと考えています。